

一般質問通告書

平成28年第1回議会定例会（平成28年3月）

質問者（4名）

① 名間 武忠

② 福井 源乃介

③ 山崎 賢治

④ 奥山 直武



知名町議会

通告順	議席3番	名間武忠	平成28年3月 日
1			時分～ 時分

1. 地方創生事業関連について

政府は従来補助金では対応できない先駆性・独創性がある試みには重点的に交付金を手当するとしている。今回策定される「知名町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関し、次の点についてお尋ねします。

- ① 平成28年度当初に予算化された関連事業について、事業名、事業費、事業内容等の資料提出。
- ② 若者の定住につながる「地域おこし協力隊」等の導入、又、雇用対策として企業誘致を積極的に図る必要はないのか。
- ③ 婚活支援として、未婚男女の出会い場の設置や結びつきをサポートする民間の世話人を任命する考えはないのか。
- ④ 地方創生事業は本町にとって重要な業務であり、行政組織の改変や専任職員の配置等を検討する考えはないのか。

2. 町制施行70周年について

町制施行70周年について、第1回記念事業実行委員会が2月15日に開催され、記念式典及び祝賀会を今年の11月6日に決定、更に事業推進方針や事業計画等についても協議・決定がなされた。今後、事業推進本部において企画・実施、全体調整を行うとされているが、次の点についてお尋ねします。

- ① 現存の知名町誌は57年6月発刊され、以来35年を経ており、今回「続・知名町誌」として計画されている。発刊までの計画・年数はどのように考えているのか。
- ② 70周年を記念とした「知名町音頭」について
 - ア、歌詞についての応募状況、又、曲を本町と縁のある作曲家との交渉、実現見込みについて
 - イ、歌手についてはどのように考えているのか。関西で活動されている本町出身の「美城旭さん」を検討してはどうか。

ウ、完成はいつ頃、どのように発表されるのか。又、町民や町民に縁のある皆さんに親しまれ、持続的なものとする為にどのような方策をとられるのか。

- ③ 役場新庁舎を平成32年度末までの建設目標を設定されているが、財源の庁舎建設基金について、最終的な積立金総額及び各年度の積み立てはどのような計画なのか。

3. 奨学資金貸し付けについて

昭和56年4月に奨学資金貸し付け基金の設置、以来多くの奨学生に活用されているが、「教育・文化の町」を宣言する本町にとって、更なる利用促進・充実を図る為に貸し付け基準の緩和等が必要と考えられる。次の点についてお尋ねします。

- ① 現在の基金総額、貸し付け額及び貸し付け人数。
- ② 本年度の申し込み者及び貸し付け決定者数。
- ③ 貸し付け対象及び要件に「家庭の経済的理由」を追加、及び選考基準について家計基準の緩和措置の必要性はないのか。
- ④ 基金額上限は1億円以内とあるが、上限の見直しと一般会計からの繰入れによる基金増額は必要としないのか。
- ⑤ 特別奨学資金生に農業関連者を追加し、農家の後継者育成と若者の定住促進に努める必要はないのか。
- ⑥ 「地方創生枠」等を活用した給付型及び一部免除の拡充は図れないのか。

メモ

通告順	議席12番	福井 源乃介	平成28年 3月 日
2			時 分～ 時 分

1. 農業委員会法の改正について

国の農業委員会法の改正により、本年4月1日より新制度がスタートします。農地の流動化・集積・集団化等に期待をする一方で、制度変更に戸惑いも感じています。

- ① 本町の農業委員、及び新設される農地利用最適化推進委員の定数と地区割り、月額報酬はどうなっているのか。
- ② 農業委員と農地利用最適化推進委員の業務が明確化されるとのことであるが、町民にわかるように具体的に説明をしてもらいたい。
- ③ 農業委員と農地利用最適化推進委員は、公選制から任命制となっているが、どのような手続きを踏むのか。
- ④ 行財政改革とかけ離れた感が否めないが、農業委員と農地利用最適化推進委員をどう機能させていくのか。

2. フローラルパークの整備について

フローラルパークは開園以来、多くの町民が集う場となっている。より充実した公園になるよう、ゴーカート場跡地から海岸、屋子母側を整備する必要がある。例えば、海や夕日・クジラが見えるウッドデッキの設置、湧水を利用した噴水やウォータースライダーといった施設等の計画はないのか。

3. 教育の振興対策について

本町の教育の大事な柱として、読書活動の推進・充実による心豊かな児童生徒の育成とあるが、現実には司書補が兼務であったり配置されないなど、学校間に格差や温度差がある。7校全てにきちんと配置をして、読書環境を充実すべきではないか。

メ モ

通告順	議席 6番	山 崎 賢 治	平成28年 3月 日
3			時 分～ 時 分

1. 地方創生の取り組みについて

政府は平成27年度中に地方版「まち・ひと・しごと総合戦略」や「地方版人口ビジョン」の策定を義務付けているが、我が町の「目玉戦略」としてどのような事業が検討されているのか。併せて、次の件についてお尋ねします。

- ① 地方創生交付金は「町単独事業」と「町の総合戦略に位置付ける事業」に限定されているが、本町へ支給された支援金事業の明細は。
また、新年度に予算化されている「目玉予算事業」については。
- ② 国が指針としている交付金制度設計によると「人口減少対策」に力点を置いており、中でも「結婚・出産・子育て事業」の推進を暗に求めているように思うが本町の対策は。
- ③ 社人研による人口推計によると、25年後の2040年には本町の人口構成は生産人口（15～64歳）2,300人、年少人口（0～14歳）600人、老年人口（65歳～）2,000人となっている。特に年少人口の減少は学校運営において環境の変化が予想されるが、統廃合については早急に取り組む必要があるのではないのか。

2. 文化財保存について

住吉暗川入口付近にある「九本柱の高倉」は、昭和41年8月26日に「建造物」として町の指定を受けている。住吉暗川と共に観光スポットとして親しまれているが、長期的に保存していくためには定期的な屋根の葺き替えに係る費用の問題など、多くの課題を抱えているのが現状である。それらの課題について行政としてどのように考えているのかお尋ねします。

3. 住吉港環境整備について

住吉港入口の「観光農林漁業管理施設」に隣接して、広場を設置してあるが海側に防護柵が無いため非常に危険である。サイクリングロードの終点として安全策を設置し「夕陽スポット」として環境整備できないか。

メ モ

通告順	議席11番	奥山直武	平成28年 3月 日
4			時 分～ 時 分

1. 福祉関連について

- ① 平成27年、28年1月と赤ちゃんの出生率が多いと思うが、過去3年間に
対し何%多いのか。
- ② 妊婦さんの出産時に向けて相談や心のケアに保健センターの職員が対応し
ていると思うが、十分対応できているのか伺います。
- ③ 妊婦さんの出産や出産時に向けて助産師の方々がおられますが、町内に登
録されている助産師は何名おられるのか。又、登録をされてない助産師の把
握はされているのか。
- ④ 妊婦さんには助産師の支援が必要だと思います。助産師の何名かを町民の
相談の為に臨時職員として採用できないか伺います。

2. 閉園となる幼稚園施設等の今後の活用について

- ① 平成28年3月末で閉園される住吉幼稚園と上城幼稚園の、今後の園舎の
使用目的を伺いたい。
- ② 園舎を障がい児童や保護者の皆さんの話し合いの場、運動の場に提供でき
ないか。
- ③ 下平川幼稚園の職員を減らさないよう下平川幼稚園、未来ある子供たちを
見守る会から要望書が提出されていると思うが、今後の対応は。
- ④ 職員が1名減となると園外活動や園児のケガ等の緊急時に対応できない事
態が発生する恐れがでてくると思うが、町当局としてどのような対応をする
のか。
- ⑤ 平成29年開園予定の知名認定子ども園までの1年間、閉園する住吉、上
城幼稚園の職員を下平川幼稚園への職場異動をできると思うが、なぜできな
いのか。

3. 放課後児童クラブについて

- ① 放課後児童クラブ「ていだっこ」の存続及び廃止等を含めて話し合いがあったと思うが、その後どのような展開になっているのか。
- ② 指導員や補助員の募集を行っているようであるが、賛同者の申し込みはあったのか。又、今後、町当局としての対応は。

メモ

